

権利委員会

委員長：かもよしひさ 副委員長：

委員：菊池 薫・広瀬 郁

設立総会のささやかさに比べて、ずっしりとくる大量のコピーを懷に、知った同志がヨソ行きの顔で、紙ナプキンを巻いた水割りグラスを手に、戸惑っていた。中年の集団見合いにしては女性が足りず、さりとてカラオケにはもうひとつ憚りがある。あの晩から二ヶ月たったが、皆さんお变りはないだろうか。いや、ほんと、お变りがあつて欲しいのだけれど。協会をつくって、魂さえ入れれば現状は少しずつでも変わってくれなけりや困るわけなんだ。その魂にあたるものが、権利委員会の抱えているテーマだし、それを情緒的に表現すれば、協会をつくりあげた熱い血とでもいえようか。だけど、そんな歯の浮くようなことはいつていられない。現実にはわれわれの出来ることは余りにもすくないし、力弱い。熱い血というやつを、気が遠くなる程永い間燃やし続けて、もう忘れた頃、そういえばこの頃呼吸が楽だぞ、という風に気がついて見れば、仕事の環境や、社会的立場が、いつの間にか良くなっていた。そんな風に達成できるのかもしれない。しかし、今すぐ始めなきゃ、われわれの生涯計画はお先マックラだし、若い人達も伴侶や子供のいるはずの未来を預けてはくれないだろう、そう考えたから集まったんじゃないか。今すぐ出来ることって何かあるだろうか？徹夜明けのお湯割りシチュー片手に考えた。

まず会則を読んでみる。権利委員会の仕事が列挙してある。

これをやる事が期待されているんだ。まずお金のからむこと。こいつは厄介だ。支払う側があつて、支払い方法があつて、受け取つてはいるのだが、何のキマリもないのが慣例みたいになっていて、誰と、何から相談すればいいのか暗中模索。こりや各自のおかれている現状を、はっきりつかまえることから始めるしかないか、と思う。これ以上悪くしないためにも。それが実態の把握ということだし、何が問題なのかも明らかになるだろう。それが具体的な事例であればあるほど、交渉相手や、歩み寄り方のルールをハッキリ教えてくれるに違いない。そうやって、ひとつずつ問題を解いていき、障害をつぶしていこう。そのためには、みんながまとまっていることが必要だ。誰かが不利な扱いを受ければ、みんなで声をあげ、ある場合に不利を分担してあげる位の同心が必要だ。そんなつながりが信じられなければ協会員になる意味はない。何しろ協会自身、生まれたばかりの赤ん坊だ、早く認

知してもらい、他人様に名前でも呼んでもらいたい、という状態だ。現在入会しているメンバーは、そんな協会の親たることに同意された人達だ、否やはあるまい。

権利委員会というものを開いた。すぐやらなきゃならない事柄、といっても出来ることに限られるんだが、話し合いの結果をメモしてみる。

A①将来はどうあるべきか、権利の視点でとらえてみよう。

②生活実態調査を科学的にやろう。

③契約書を収集しよう。(画家・童画家・写真家)

④著作権関係判例集収集又は購入。

⑤著作権家協会解散までの経緯調査。

⑥印税は可能か？買い取り制以外の選択肢。

⑦納得のいかにない事例を出しあい、改訂させるよう応援しよう。

⑧勤労者のベース・アップ分を反映させられるか、研究しよう。

B①制作カードを作れないか。

単行本用、雑誌用、イラスト用など

書式の検討を始めよう。

②請求書、領収書、原稿用紙、トンボ入り台紙、ラフ・スケッチ用紙、制作便利帖

協会オリジナル品をつくり、販売したり協会名P・Rに利用しよう。

C①四月から施行される版面権の運用を研究しよう。

②著作権関連資料や書籍を収集しよう。

そのため月額二万円程度の予算を要求しよう。

こんな話し合いの中で、書式の検討や、版面権への書協の対応調査はすぐ出来るかと合意した。それと、研究委員会との連携プレーを密接にして、権利問題をテーマにした研究会を開こうということではパチパチパチ。

そして勿論、新会員も入ったことだし、面識を深め、おなかの中まで見せ合うための親睦会は……という話になると、場所・費用・酒の銘柄・肴・と例によって例のごとく、話しの泥沼にどっぷりつかって抜きも差しもならない無限地獄に堕ちたのでした。こんなことを会報一号に書けるのも、そこはそれ、仲間うちならではのこと。そう思いませんか？思わない人は委員会まで御連絡下さい。(かも記)